



PRIMERGY BX400 S1

はじめにお読みください



Microsoft, Windows, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linux、Linux Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
その他の各製品は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

作業を始める前に

□ 最新情報について
マニュアルの最新情報は以下のURLをご覧ください。また、留意事項などが記載されている場合、あわせてご確認ください。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html>

□ 設計構築に必要な情報について
サーバの導入・システム構築などの設計構築に必要な情報については、「PRIMERGY」ページの「技術情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>)をご覧ください。

□ 用語について
マニュアルで使用されている用語「システムユニット」は、「シャーシ」を意味します。

□ 梱包物を確認する
「梱包物一覧」をご覧になり、梱包物がすべてそろっているか確認してください。カスタムメイドサービスを利用してご購入された場合は、添付の「保証書」(「構成品一覧」が添付されている場合は「構成品一覧」)をご確認ください。

□ 「安全上の注意およびその他の重要情報」を確認する
添付の「安全上の注意およびその他の重要情報」には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご観察になれるよう大切に保管してください。

□ サポート&サービス
PRIMERGYに関する最新の情報や、製品・サービスに関するお問い合わせ、修理などにつきましては、添付の「サポート&サービス」をご覧ください。



外部装置用のコネクタ(背面)

外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

□ 接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア（例：ドライバなど）が必要になります。
詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。

CB 1～4 コネクションブレードスロット(CB1～CB4)
CB 1～4 コネクションブレードの詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

MMB 1, 2 マネジメントブレードスロット(MMB1, MMB2)

マネジメントブレードスロット

a Service LAN ポート
b USB ポート
c シリアルポート
d Management LAN ポート(UP)
e Management LAN ポート(Down)

外部装置用のコネクタ(前面)

外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

□ 接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア（例：ドライバなど）が必要になります。
詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。

システムユニット前面のコネクタ

電源ケーブルの接続

□ システムユニットには、ホットスワップ対応の電源ユニットベイが4つ装備されています。電源ユニットは、標準で1台取り付けられています。

電源ユニットの電圧は、100V～240Vの範囲で自動的に設定されます。いずれかの位相でエラーが発生した場合でもシステムユニットを継続して利用可能な状態にしておくために、電源ユニットは異なる位相に接続するようにしてください。

● メイン電源の接続

1. 電源ケーブルを、システムユニット背面の電源コネクタに接続します。
2. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

次のオプションを利用できます。

- 電源ケーブル (AC200V対応、NEMA L6-15)
- 電源ケーブル (AC200V対応、IEC 60320-C20)
- 電源ケーブル (AC100V対応、NEMA 5-15)

● リリースタイの使い方

リリースタイで電源ケーブルを固定することで、ケーブル類が誤って引っ張られることを防ぎます。

1. 電源ケーブルをリリースタイに通します。
2. リリースタイをしっかりと引いて電源ケーブルを固定します。

□ リリースタイのストッパー位置で反対側に引っ張ると、リリースタイを外すことができます。

表示ランプ(背面)

● 電源ユニットのランプ

No. ランプ名称 色 状態 意味

a	電源状態ランプ	緑	点滅	スタンバイモードで待機中です。
a	電源状態ランプ	点灯	正常に動作しています。	
a	電源状態ランプ	黄	点灯	電源ユニットに異常があります。

● ファンユニットのランプ

No. ランプ名称 色 状態 意味

a	電源状態ランプ	緑	点滅	スタンバイモードで待機中です。
a	電源状態ランプ	点灯	正常に動作しています。	
a	電源状態ランプ	黄	点灯	電源ユニットに異常があります。

各部名称とランプ

本システムユニットの前面には、LCDパネルが格納されています。
次の場合に使用します。

- 基本設定ワーカーを使用したマネジメントブレードの初期設定。
詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。
- ブレードサーバのローカルでの診断および管理。

□ サーバブレードとストレージブレードの各部名称などの説明については、関連する「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

● 前面

LCDパネル(展開した状態)

● 背面

マネジメントブレード

LCDパネル(格納された状態)

● 背面

マネジメントブレード

前 面 背 面 ランプ名称 色 状態 意味

a	e	CSSランプ	黄	異常はありません。
b	d	保守ランプ	オレンジ	点滅 故障の予兆を検出した。
e		電源ランプ	緑	点滅 故障を検出した。
f	f	システム識別灯	青	点滅 システム識別中ではありません。
a	a	状態表示ランプ	黄	マスターモードで動作しています。
b	b	LANアクセス表示ランプ(Service LAN)	緑	スリーブモードで動作しています。
c	c	LAN転送速度表示ランプ(Service LAN)	緑	リンクが確立しています。
d	d	保守ランプ	点滅	リンクが確立されません。
e	e	CSSランプ	緑	転送中です。
f	f	システム識別灯ボタン/システム識別灯	青	100Mbpsでコネクションを確立中です。
g	g	LANアクセス表示ランプ(Management LAN)	緑	リンクが確立されません。
h	h	LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)	緑	1Gbpsでコネクションを確立中です。
i	i	LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)	黄	10Mbpsでコネクションを確立中です。
j	j	LANアクセス表示ランプ(Management LAN)	点滅	10Mbpsでコネクションを確立中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

コンポーネントの取り外し

- サーバーブレード/ストレージブレードの取り外し
 
 - リリースラッチを押し上げて、ロックを外します。
 - リリースレバーを右に開きます。
 - サーバーブレードを取り外します。

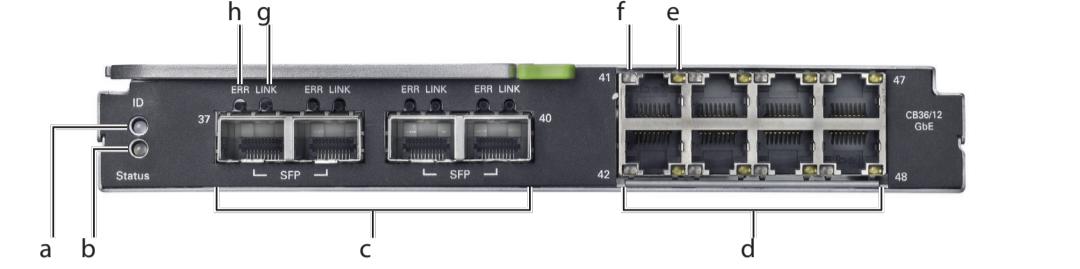
ストレージブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。
- ダミーサーバーブレード/ダミーストレージブレードの取り外し
 
 - リリースレバーを左に押します。
 - ハンドルを使用して、スロットからダミーモジュールを取り外します。
- 電源ユニット/ファンユニットの取り外し
 
 - システムユニットの各電源ユニットの搭載場所をメモしておきます。
 - ロックレバーを押しながら(1)、リリースレバーを開きます(2)。
 - 電源ユニットを引き出します。

ファンユニットを取り外す方法は、上記と同じ手順です。
- コネクションブレード/マネジメントブレードの取り外し
 
 - リリースラッチを下にスライドさせて、リリースレバーを開けます。
 - リリースレバーをいっぱいまで押し上げて開きます。
 - コネクションブレードを取り外します。

マネジメントブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。
- ダミーコネクションブレード/ダミーマネジメントブレードの取り外し
 
 - ダミーモジュールのつまみを内側に押します。
 - ダミーモジュールを取り外します。

コネクションブレードの各部名称とランプ(1)

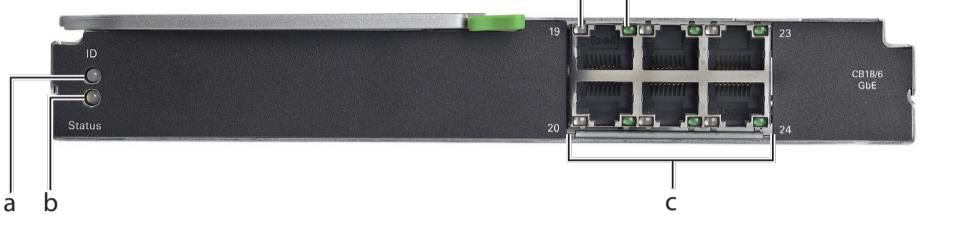
本書に記載のないコネクションブレードについては、「オペレーティングマニュアル」または各コネクションブレードのマニュアルをご覧ください。

- スイッチブレード(1Gbps 36/12)
 

すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード(1Gbps)を搭載してください。

a 識別ランプ	e LANアクセス表示ランプ	d LANアクセス表示ランプ
b 状態表示ランプ	f LAN転送速度表示ランプ	e LAN転送速度表示ランプ
c SFPモジュールスロット	g リンクランプ(SFPモジュール)	c LANコネクタ(10/100/1000BASE-T)
d LANコネクタ(10/100/1000BASE-T)	h エラーランプ(SFPモジュール)	

コネクションブレードの各部名称とランプ(3)

- スイッチブレード(1Gbps 18/6)
 

すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード(1Gbps)を搭載してください。

a 識別ランプ	d LANアクセス表示ランプ
b 状態表示ランプ	e LAN転送速度表示ランプ
c LANコネクタ(10/100/1000BASE-T)	f LANコネクタ(10/100/1000BASE-T)

設定

- システムユニットに必要なコンポーネントが搭載されていることを確認します。
- システムユニットの電源ケーブルを接続します。
- システムユニットのメイン電源を入れてから、LCDパネルのメイン電源スイッチを入れます。
- 「YES」を選択して「OK」をクリックし、ウィザードを開始します。
「NO」を選択すると、基本設定ウィザードが終了し、「Health Status Overview」メニューが表示されます。

ウィザードに従って進むと、必要な設定ができます。

i 設定の詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

OSを新規にインストールする

サーバーブレードに、WindowsまたはLinuxを新規にインストールする場合は、ServerView Installation Manager(SVIM)を使用します。
詳しくは、「ServerView Suite ServerView Installation Manager」をご覧ください。
なお、Linuxの場合は、SVIMを使用する前にインストールDVDを作成するなど、準備が必要です。
VMwareを新規にインストールする場合は、SVIMは使用しません。詳しくは、VMwareの「ソフトウェア説明書」をご覧ください。

Windowsの新規インストール
SVIMでインストールを行います。

Linuxの新規インストール

- インストールDVDを作成します。
インストールDVDは、RHN(Red Hat Network)からダウンロードして作成します。
i RHNへの登録については、「Red Hat Network、サブスクリプションの登録方法」(<http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html>)をご覧ください。
- RHNにログインします。
- ISOイメージの公開サイトページを開きます。
- インストールするディストリビューションを選択してください。
- Binary DiscのISOイメージをダウンロードします。
RHNの画面に、MDSチャックサムが表示されています。
ダウンロードしたISOイメージのチェックサムが正しいか確認してください。
- ISOイメージから、インストールDVDを作成します。

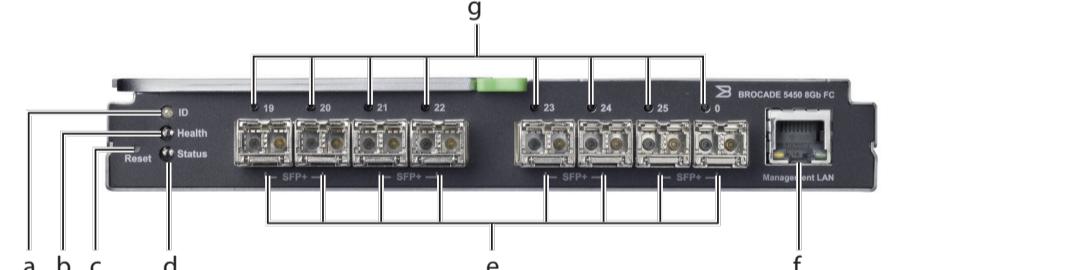
- 富士通Linux サポートパッケージ(FJ-LSP)を準備します。
FJ-LSPは、サポート契約されたお客様のみ対象となります。
FJ-LSPは、富士通のSupportDesk契約者様向けサイト(SupportDesk Web: <http://eservice.fujitsu.com/supportdesk>)からダウンロードしてください。
- SVIMでインストールを行います。
SVIMのアプリケーションウィザードでFJ-LSPを適用してください。

VMwareの新規インストール
インストールメディアは、ヴイエムウェア株式会社のサイト(<http://www.vmware.com/jp/>)よりダウンロードしてください。

i ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。詳しくは、「お客様登録とライセンス取得のご案内」*をご覧ください。また、製品をご使用になる前にSupportDeskへの登録をお願いします。
* VMware/パドルタイプをご購入のお客様は、同梱されています。それ以外のお客様は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

VMwareのインストール方法、および使用時に留意すべき事項については、VMwareの「ソフトウェア説明書」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)をご覧ください。

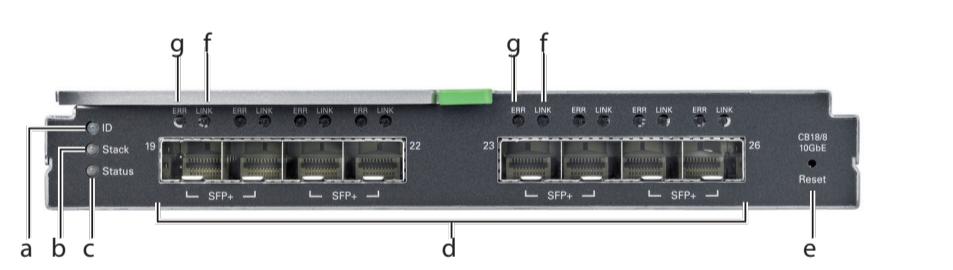
コネクションブレードの各部名称とランプ(2)

- ファイバーチャネルスイッチブレード(8Gbps 18/8)
 

本システムユニットのCB2、CB3、CB4に搭載可能です。
また、ファイバチャネル拡張ボードを搭載したサーバーブレードのみサポートします。

a 識別ランプ	e 外部ファイバーチャネルポート	e リセットボタン
b マネジメントブレード表示ランプ	f LANコネクタ	f LAN接続表示ランプ
c リセットスイッチ	g 外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	g エラーランプ
d 状態表示ランプ		d LANコネクタ

コネクションブレードの各部名称とランプ(4)

- スイッチブレード(10Gbps 18/8)
 

すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード(10Gbps)を搭載してください。

a 識別ランプ	d LANアクセス表示ランプ
b スタック表示ランプ	e リセットボタン
c 状態表示ランプ	f LAN接続表示ランプ
d LANコネクタ	g エラーランプ

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードから識別指示を受けている状態です。
b	マネジメントブレード表示ランプ	緑	点灯	マネジメントブレードから正常に認識され、動作しています。
c	リセットスイッチ	オレンジ	点滅	マネジメントブレードからステータス異常として認識されています。
d	状態表示ランプ	—	消灯	スイッチブレードがFFの状態です。
e	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	緑	点灯	正常に動作しています。
f	外部ファイバーチャネルポート	オレンジ	点灯	スイッチブレードが起動またはオフライン状態です
g	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	オレンジ/緑	点滅	警告、エラーが発生しました

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードから識別指示を受けている状態です。
b	マネジメントブレード表示ランプ	緑	点灯	マネジメントブレードから正常に認識され、動作しています。
c	リセットスイッチ	オレンジ	点滅	マネジメントブレードからステータス異常として認識されています。
d	状態表示ランプ	—	消灯	スイッチブレードがFFの状態です。
e	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	緑	点滅	正常に動作しています。
f	外部ファイバーチャネルポート	オレンジ	点灯	スイッチブレードが起動またはオフライン状態です
g	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	オレンジ	点滅	シグナルまたは光キャリアを受信しています。ただし、オフライン状態です。
h	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	—	消灯	接続が確立していない状態です。